

道徳科の評価について

道徳科の評価のポイント！

- 道徳科の学習活動における取組状況を
- 多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかの視点で
- 成長の様子を受けとめて認め、励ます個人内評価として
- 大きくくりなまとまりで



詳しくはこちらをチェック！

評価の基本的な考え方
「NITS 独立行政法人
教職員支援機構」
校内研修シリーズ

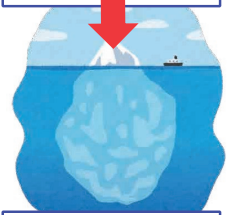


道徳科のねらいは「道徳性を養う」ことなのに、なぜ、学習における取組状況

内面的資質である道徳性が養われたかどうかを見取ることは困難です。そこで、道徳性を養うために行われる学習活動で、どのように学んでいるのか、学習状況及び成長の様子を継続的に見取り、評価します。



学習活動
(見えやすい)



道徳性
(見えにくい)



「学習状況及び成長の様子」というのは、具体的にどのような姿を見取ればよいのでしょうか。

ポイントは「**一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか**」「**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**」です。



一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか

- ・道徳的な問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ・自分と違う意見や立場を理解しようとしている
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ・他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている
- ・道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え、考えようとしている

例えば、具体的な授業の中で・・・

サムを受け入れる様々な理由について、考えたり発言したりしている。

(高学年「ブランコ乗りとピエロ」)

おおかみを自分に置き換えて考え、親切にしたときの気持ちよさを考えている。

(低学年「はしのうえのおおかみ」)

親切にすること自分の立場からだけでなく、相手の立場からも捉えて考えている。

(中学年「心と心のあくしゅ」)

ひろ子がとるべき行動について、話し合うことを通して友達とはどうあるべきか考えを深めている。

(中学年「絵はがきと切手」)

元さんのとった行動に対して、きまりの意義、生命尊重、思いやり等様々な道徳的価値と関連させて考えている。

(中学校「二通の手紙」)

和枝が感じている自分自身に対して誠実に行動することの難しさについて、自分事として捉えて考えている。

(高学年「のりづけされた詩」)

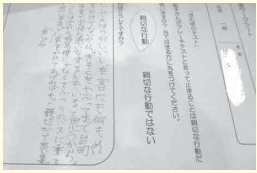


具体的にはどのように評価していけばよいのでしょうか。

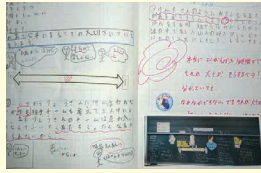


まずは、児童生徒の学びを蓄積していくことが重要です。

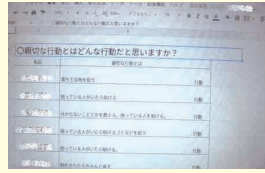
例えば



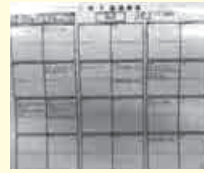
ワークシート



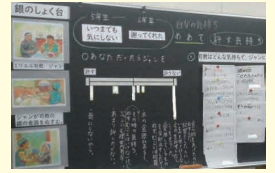
ノート



1人1台端末



座席表



板書

蓄積した情報を基に、年間や学期といった時間的なまとまりの中で次のように評価します。



例えば、児童生徒の学習の振り返りから・・・

第〇回「〇〇〇」



第〇回「父の言葉」

自分が「私」だったら、女の子に声をかけられないと思います。声をかける勇気がないからです。でも、相手のことを思って、勇気をもって声をかけることが大切だと思いました。

第〇回「〇〇〇」



第〇回「ひきょうだよ」

自分が「ぼく」の立場だったらゆうすけたちが怖くて何もできないかもしれません。でも、たかひろの気持ちを考えると、ゆみのようにきちんと注意することが大切だと思いました。だめなことはだめ、という気持ちを忘れずに行動できるようになりたいです。

個人のおよさや頑張りをお評価する例

「ひきょうだよ」では、社会正義の実現について、登場人物を自分に置き換えて考えることで、正しい行動をするためには、自分の意志を強くもつことが大切であると気付いていました。

⇒保護者にとっては学習の様子がおイメージしやすいが、一つの授業の評価であり、成長の様子は感じられない。

子供の成長の様子をお評価する例

登場人物を自分に置き換えて生活を振り返ったり、様々な登場人物の立場に立って考えることで様々な見方から物事を捉えたりし、今後のよりよい生き方について考えを深めていました。

⇒子供の成長の様子が感じられるが、やや抽象的であり、特徴が見えにくい。

2つの文例の長所を生かして、指導要録、通知表の特質に合わせて工夫することが大切！

授業中の教師の声かけやワークシートなどへのコメントも、子供の成長を認める大切な評価ということを意識して取り組んでいきたいですね。



「道徳の授業づくりについて」
「つばさ52号」より